

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

506

漁業者等支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	2	水産業の振興
取組方針	1	つくり育て管理する漁業の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	水産業費		
	目	水産総務費		
	大事業	水産総務事業		
	中事業	漁業者等支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 中兀 成浩 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	漁業の近代化、生産基盤の整備拡充および各種団体の育成に要する人件費等を支援することを目的とする。		水産振興を目的とした各種団体に対し助成する。 水産資源の増殖を目的とした放流事業等の運営に対して助成する。 漁場の保全を自主的に図る各種団体への補助に要する諸経費。		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	増殖事業補助金(あわび、さざえ、たこ、きじはた、あさり、鮎等) 水産多面的機能発揮対策事業	増殖事業補助金(あわび、さざえ、たこ、きじはた、あさり、鮎等) 水産多面的機能発揮対策事業 ブルーツーリズム推進事業	増殖事業補助金(あわび、さざえ、たこ、きじはた、二枚貝、鮎等) 水産多面的機能発揮対策事業 漁業担い手育成支援事業補助金	増殖事業補助金(あわび、さざえ、たこ、きじはた、二枚貝、鮎等) 水産多面的機能発揮対策事業 漁業担い手育成支援事業補助金	増殖事業補助金(あわび、さざえ、たこ、きじはた、二枚貝、鮎等) 水産多面的機能発揮対策事業 漁業担い手育成支援事業補助金

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,888	2,758	9,388	17,379	12,954	7,156	11,249	0	11,249	0
伸び率(%)	△9.7%	△11.7%	225.1%	530.1%	38%	△58.8%	△13.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,718	3,357	4,027	3,544	3,345	3,106	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,718	3,357	4,027	3,544	3,345	3,106	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	3,750	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	2,000	3,500	10,062	4,496	8,357	0	8,357	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	2,000	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,888	2,758	7,388	10,129	2,892	660	2,892	0	2,892	0
所要人数(人)	正規職員	0.34	0.42	0.50	0.44	0.42	0.39	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	水産振興対策費補助金2,532千円、水産多面的機能発揮対策事業補助金360千円、漁業担い手育成支援事業補助金10,062千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
対象資源数	漁場整備	個所	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	6
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%
要望事業数	成果指標	個	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	8	8
			達成度(%)	100%	100%	100%	100%	100%
				目標値				
				実績値				
				達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本事業は、市内の加太、西脇、雑賀崎、和歌山北、和歌浦漁協の5漁協からの魚類増殖事業や漁場整備事業の要望で行っており、現状維持で妥当と考えられる。
見直し・改善内容	市内5漁協に対して、毎年度、魚類増殖事業や漁場整備事業の要望ヒアリングを実施し、毎月の5漁協から提出される漁獲月報を考慮し、増産、減産を効率的に運用していく。